

ブラッドパッチについて

ブラッドパッチ（硬膜外自家血注入療法）は脳脊髄液の漏れを止める治療法で、長年の念願がかなって今年4月から健康保険で行えるようになりました。対象となる疾患は脳脊髄液減少症です。脳脊髄液減少症は頭痛・めまい・だるさなど多彩な症状を呈します。この病気についてわかりやすく解説します。

脳脊髄液減少症とは?? 脳とそこからの指令を身体に伝達する神経などを覆い、守っているものが「脳脊髄液」です。事故やなんらかの原因でこの脳脊髄液が漏れ出すと、頭痛やめまい・だるさなど、さまざまな症状が起こり多くの患者さんが大変な苦痛を感じています。

日時： **6月16日（木）** 14:00～15:00（13:00開場）

場所： 国際医療福祉大学熱海病院 地下1階大会議室

講師： 【脳神経外科】
 脳卒中・神経センター顧問
 国際医療福祉大学教授

しのなが まさみち
篠永 正道 医師

横浜市立大学卒、医学博士
 前平塚共済病院救急センター長・診療部長
 元横浜市立大学脳神経外科講師
 日本頭痛学会認定指導医
 日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医
 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医
 日本脊髄外科学会認定医



脳神経外科全般の診療、椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症といった、生活に支障が出るような腰や背中の痛みを起こす脊髄・脊椎疾患、脳脊髄液減少症の診断と治療を行っている。特に脳脊髄液減少症に対するブラッドパッチ治療には定評があり、全国から患者様が受診に訪れている。

※定員100名：事前申込み制（当日参加可）

 **国際医療福祉大学熱海病院**

〒413-0012 熱海市東海岸町 13-1
 アクセス
 電車：JR 東海道新幹線 / JR 東海道線「熱海駅」より徒歩 8分
 バス：JR 熱海駅より大学病院前下車

申込先：**0557-81-9171**

熱海駅前より無料送迎バスを運行

